GCAS for Business

Score Report

Candidate Information

Family Name: Eiken　　First Name: Taro

Company/Organization: Test EIKEN　　Date: 2020/10/27

Overall Results

CEFR Level: B2　　GCAS Score: 213 / 300

ビジネス場面でのスピーキング力がかなり備わっていますが、まだ改善の余地があるレベルです。

A1			A2			B1			B2			C1			C2		
									●								

※各 CEFR Level に相当するスコアを 3 分割して、取得したスコアに対応する位置を示しています。

Details

Evaluation Category		Average	Part 1	Part 2	Part 3
English Language Skills B2	Range（表現の幅）	B2	B1	B2	B2
	Accuracy（正確さ）	B2	B2	B2	B2
	Fluency（流暢さ）	B2	B1	B2	B2
	Interaction（やりとり）	B2	B1	-	B2
	Coherence（一貫性）	B2	B2	B2	B2
Business Performance Skills B2	Presentation（発表力）	B2	B1	B2	B2
	Analysis（分析力）	B2	-	B2	B2
	Facilitation（交渉力）	B2	B2	B2	C1

Study Tips

※総合成績を伸ばすためには、特に以下の観点に注意して学習することをお勧めします。
※下線の項目は、特に採点者から指摘があった改善ポイントです。

English Language Skills

やり取り　幅広い話題について話したり、状況が複雑になったりしても、話し相手に依存して受け身にならないように、自信を持って効果的にやりとりするようにしましょう。

表現の幅　幅広い話題や専門性を伴うような話題についても、自分の考えや意見などを的確に伝えられるように、慣用的な表現も含めて表現の幅をさらに広げるようにしましょう。

Business Performance Skills

発表力　ビジネスに関わる幅広い話題や抽象性を伴う高度な話題についても、複数の観点を踏まえながら自分の意見や提案を効果的に説明できるようにしましょう。

分析力　複数の図表によって提供された情報や状況を的確に把握し、ビジネスに関わる課題との関係を説明したり、求められている対応策などを効果的に説明できるようにしましょう。

GCAS CSE スコア（Speaking）	516（英検準1級相当）

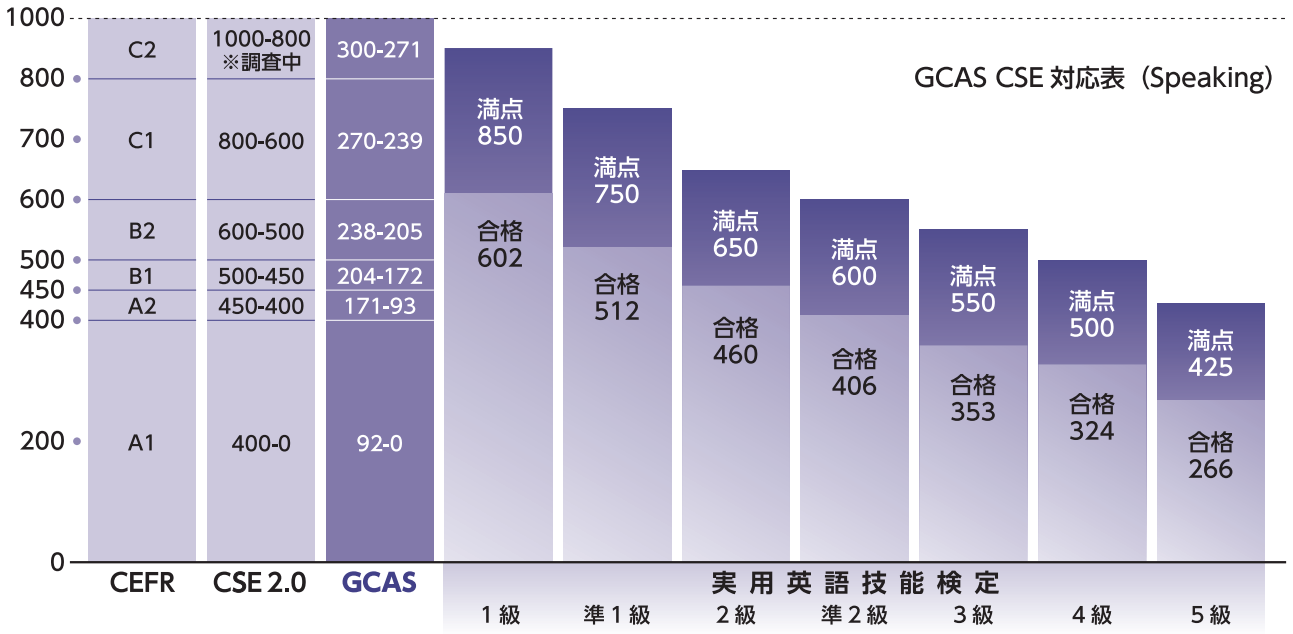
GCAS for Business

CEFR とは

Common European Framework of Reference for Languages: Learning、teaching、assessment（外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠）の略で、複数の言語を対象とした学習、教授、評価のための枠組みとして長年の言語教育の研究成果を基盤にヨーロッパで開発されました。CEFR の中心になっているのが言語達成度を表す共通参照レベルで、A1 から C2 まで 6 段階のレベルが設定されています

熟達した言語使用者	C2	聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。 いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構成できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテクストを理解することができ、含意を把握できる。 言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作ることができる。その際テクストを構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑なテクストの主要な内容を理解できる。 お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細なテクストを作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。
	B1	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。 身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテクストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

吉島茂／木島理枝 編訳「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠」朝日出版社 から抜粋

CSE とは

CSE（Common Scale for English）とは、CEFR と関連性を持たせて開発したユニバーサルなスコア尺度です。具体的には CEFR の A1 レベルから C2 までの範囲を各技能 1000 点満点のスコアに尺度化したものです。GCAS の受験結果を英検協会の各種試験（「英検」、「英検 IBA」、「TEAP」、「IELTS」、「英検 Jr.」等）のスコアと比較することができます。